

# 若葉台西中だより

横浜市立若葉台西中学校

校長 田中明子

第25号 平成17年4月25日(月)発行

横浜市旭区若葉台四丁目34-1

TEL 921-0281

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/wakabadainishi/>

FAX 922-5986

若葉台の学校教育に関して、『小規模校再編(学校統合)』という大きな課題を持って、平成17年度がスタートしました。

若葉台には教育環境を重視したまちづくりの歴史があります。若葉台地区の最初の小学校として1980年(昭和54)4月に東小が、最初の中学校として1981年4月に東中が設立され、その後1982年に北小、1984年に西小・西中が設立されました。

以来四半世紀、今ここに少子化の進行したまちの変化に合わせて、21世紀に活躍する人材の育成を使命とした、新たな学校づくりのチャンスがやってきたと考えたいと思います。

学校設置者である横浜市の財政状況は引き続き厳しく、教育費も例外とされること無く削減が続いています。様々な条件下での学校づくりになるかと思いますが、保護者の皆様、地域の皆様から積極的に知恵や知識を寄せていただきたいと思います。

上記の課題への取り組みを抱えながらも、今年度の本校の教育はたゆむことなく、前年度以上に充実したものになるよう、教職員一同心掛けてまいります。

どうか、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(学校長)

## 横浜市立若葉台西中学校教育目標

- 1 自他を認め合い、互いに支え合う生き方を大切にします。
- 2 自ら課題を持ち、考え、解決しようとする生き方を大切にします。
- 3 自らの生き方を考え、社会の一員としての責任を自覚した行動を大切にします。

## 平成17年度 横浜市立若葉台西中学校経営方針

**「だれもが」「安心して」「豊かに」生活し、『なりたい自分を探し、なれる自分をつくる学校』を目指し、学校教育目標の具現化を図る。**

- 1 なりたい自分を探し、なれる自分をつくる学校づくり** (人格形成・生きる力の育成)  
すべての生徒にとって自己理解・自己実現が図られ、自己肯定感を持って自分の存在意義が確認できる学習や活動の場を設け、学校生活が有意義で充実したものになるように支援に努める。  
教育活動全体を通して人権を尊重する資質を養成し、互いのよさや違いを認め合い共に学び高め合う態度を育成する。
- 2 常に子どもから出発し、子どもに帰る教育実践** (教育課程の運営・改善)  
教職員が目標や課題を共有し、主体的に学校経営に参画して組織的に活動を高め、教育課程の運営・改善に努めるとともに、創意工夫に満ちた特色づくりを推進する。  
適切な指導計画・実践・評価に基づく教育活動の展開に努め、各教科の基礎・基本の指導を徹底して学力の定着を図り、学習過程を重視して主体的探究的に学ぶ態度を育成する。
- 3 教師は最大の教育環境** (教職員の資質の向上、研修の充実)  
教育課程の効果的な運営に不可欠な新しい知識や技能の習得に努めつつ、今日的な教育課題に積極的に取り組み、市民の期待と信頼に応えられる意欲的且つ着実な教育実践に努める。  
生徒一人ひとりをかけがいのない存在として尊重し、それぞれの課題解決に寄り添い支援することのできる指導者として、自己を振り返り研鑽に努める。
- 4 学校で基礎力を培い、まちで実践力を磨く** (家庭・地域との連携・協働)  
家庭や地域との連携を深め、その豊かな教育力を取り込んだり地域に教育の場を求めて、体験的共感的に生き方に学ぶことを重視した教育活動を展開する。  
地域活動や地域行事への参加を促し、その実践を通して地域社会の一員としての役割を果たし、個性の伸長や生き方を創ることのできる生徒の基礎力の育成に努める。

## 指導の重点

- 1 友達や先生との好ましい人間関係や信頼関係の確立に努め、安心して伸び伸びと自分の力を発揮して学校生活が送れるよう、人権尊重の視点で身近な生活を振り返り、課題解決に取り組む生徒活動を充実させる。  
(人権教育・特別支援教育・すべての教育活動)
- 2 生徒の自発性を生かし、体験的・実践的な活動を取り入れて学びの過程をたいせつにし、生徒一人ひとりのよさや可能性を最大限に伸ばす授業および諸活動の工夫・改善を図る。  
(個に応じた指導・少人数制・T T・選択教科・総合的な学習の時間・生徒会活動)

### \* 平成17年度 教職員配置 \*

校長 田中 明子					
副校長 鈴木 義久					
1 年		2 年		3 年	
1 組	小畑 謙二 (保体)	1 組	最上 玲子 (音楽)	1 組	木村久美子 (社会)
2 組	小坂 清美 (国語)	学 2 組	岡部 功 (数学)	2 組	中村 愛 (英語)
3 組	富沢加津子 (個・体)		柳田 和夫 (英語)	3 組	萩原 雅友 (理科)
学	菊池 幸男 (理科)		福井 綾子 (美術)	4・5 組	滑川 好之 (個・社)
生	宇田 肇 (技術)	保・養護教諭	村越 弓子	教・学	中島 良一 (国語)
				進	榎本美津子 (英語)
					高田 牧夫 (数学)
		非常勤講師	江森 ユキ (家庭)		
総括事務主査 小林 一夫			技術吏員 稲垣 康子 齋藤 元博		
スクールカウンセラー 村松 奈美			A E T Dwayne Van Den Heuvel		
学校医 【内科】岩間 博士		【眼科】大西 宏司		【歯科】矢吹 博英	
【耳鼻咽喉科】木村 晴		【薬剤師】百木美代子			

(教) 教務主任, (学) 学年主任, (進) 進路指導主任, (生) 生徒指導専任, (保) 保健主任

### \* 平成17年度 生徒数 \*

	1 年	2 年	3 年	計
男	2 8	2 4	4 6	9 8
女	4 0	3 6	3 7	1 1 3
計	6 8	6 0	8 3	2 1 1 名

## 入学式 『新入生のことば』

今日は待ちに待った入学式の日です。私達新入生はこの日を楽しみにしていました。私は中学校で頑張りたいことが、たくさんあります。

まず一つ目は勉強です。中学生になると英語が始まるし、算数も数学になります。その他の勉強も難しくなると聞きました。だけど、どの勉強も基本となるのは小学校で習ったことだから、思い出しながらしっかり先生の話聞いて頑張りたいと思います。

二つ目は部活動です。部活は剣道部に入ろうと思っています。剣道はやった事がないけれど、部活見学をした時とてもかっこ良かったので、入りたいと思いました。少しでも上手になれるよう、たくさん練習したいと思います。

三つ目は友達作りです。元西小の人だけでなく、元北小の人も来るので、今までの友達とも仲良くしたいし、もっともっと新しい友達も作りたと思います。そして小学校生活よりも短い中学校生活で、たくさん思い出を作りたいと思います。

分からない事だらけですが、新入生皆で協力して、早くこの若葉台西中学校に慣れたいと思います。そして、中学校の3年間が充実した3年間になるように、頑張りたいと思います。先生方、先輩方、よろしくお願ひします。

平成17年4月5日 新入生代表 田中あきほ・飯島結菜

